

Generative AI Test取得コース

eラーニングとLIVE講義を通じて、Generative AI Testの合格を目指します

※ eラーニングの学習期間は貴社の状況に合わせて短縮可能です

eラーニング

LIVE配信

オンラインテスト

2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月
		AIリテラシー講座 4h	対話型生成AI講座 ※生成AI/パスポートにも対応 3h	Generative AI Test 試験対策 3h	Generative AI Test 試験期間 12月中を想定
※eラーニングの開始は、8月19日(月)				11月18日(月) 13時～16時	

はじめてAIについて学ぶ方へ

近年では、AI・機械学習・ニューラルネットワーク・ディープラーニングといった言葉をよく耳にするようになりました。これらは一体どういう技術で、私たちの生活にどのように関わっているのでしょうか。本講座では、私たちの身の回りにある事例を用いて、AI(人工知能)の仕組みを解説していきます。

<https://www.skillupai.com/ailiteracy/>



こんな方にオススメ

- ✦ AIの概要や仕組みについて手っ取り早く理解したい方
- ✦ AIに関わる最新ニュースについて学びたい方
- ✦ AIジェネラリスト基礎講座やG検の内容が難し過ぎる方

講座のゴール

- ✦ AIの概要を理解する
- ✦ AIが得意なこと、AIを賢くさせる方法などについて学ぶ
- ✦ AIに関わる最新ニュースを知る

形式/時間

- 提供形式: eラーニング
- 動画講義: 4h
- 学習時間: 6.5h(目安)

必須スキル・前提知識

前提知識なしでお取り組みいただけます。

カリキュラム

序章: AIを学ぶ理由

- DXとAI
- 身の回りのAI

第1章: AIとは

- AIってなに?
- AIの歴史
- 第一次AIブーム
- 第二次AIブーム
- 第三次AIブーム
- 第三次 AI ブームを支える2つのできごと
- [ワーク] AIの歴史・AIの未来
- 機械学習とは
- [ワーク] 学習方法の違い
- 深層学習(ディープラーニング)とは
- [ワーク] AI・機械学習・深層学習の整理

第2章: 今のAI が得意なこと

- 今のAIに向いているテーマ
- 今のAIに向いているテーマ | ①画像認識
- 今のAIに向いているテーマ | ②自然言語処理
- 今のAIに向いているテーマ | ③音声処理
- 今のAIに向いているテーマ | ④生成
- [ハンズオン] Google Cloud Platform のAPIを使ってみよう

第3章: AIを賢くさせる方法

- AIを賢くさせる方法
- 画像データ
- 動画データ
- 音声データ
- テキストデータ
- [ワーク] データセットの調査
- [ハンズオン] Teachable Machine を使ってみよう
- [ハンズオン] Azure Custom Vision を使ってみよう

第4章: AIに関わる最新ニュース

- AIによる差別問題
- AIの人権問題
- AIによる責任問題
- AIにまつわる雇用問題
- AIにまつわる軍事問題
- AIによって生成された偽物
- AIによる創作物
- 日本の動向
- 海外の動向

第5章: 対話型生成 AI の概要

- 生成 AI と対話型生成 AI
- ChatGPT 登場とそれ以降の動き
- 対話型生成 AI の比較
- 対話型生成 AI を利用する際の注意点
- 対話型生成 AI 活用の課題と対策

対話型生成AIを基礎から学び使いこなす

文章要約、翻訳、記事の作成などのタスクを実行できる「対話型生成AI」。業界や業種を問わない汎用性を持っていますが、タスク実行の精度は、指示(プロンプト)の出し方によって大きく変わります。本講座では、ChatGPTを含めた対話型AIを利用するうえで必要となるプロンプトエンジニアリングの基礎知識を学びます。

<https://www.skillupai.com/text-generating-ai-for-business-person/>



こんな方にオススメ

- ⊕ 対話型生成AIを使っているが、思い通りの回答を得られていない方
- ⊕ ChatGPTを使っているが、他の対話型生成AIにも興味がある方
- ⊕ プロンプトエンジニアリングを体系的に学びたい方

講座のゴール

- ⊕ 対話型生成AIを含む生成AIをめぐるトレンドや動向・対話型AIの仕組みを理解する
- ⊕ プロンプトエンジニアリングの基礎知識を身につける
- ⊕ 新しい手法や応用事例を含めた対話型生成AIの活用事例を知る

形式/時間

- 提供形式: eラーニング
- 動画講義: 3h
- 学習時間: 4h(目安)

必須スキル・前提知識

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 必須スキル | ○ なし |
| 推奨スキル | ○ AIリテラシー講座 修了相当 |

カリキュラム

第1章: 対話型生成AIの概要

- ChatGPT登場とそれ以降の動き
- 対話型生成AIの比較
- 主要なタスクの生成結果比較
- 対話型生成AIを利用する際の注意点

第2章: 大規模言語モデルの概要

- 大規模言語モデルの概要 | Transformer
- 大規模言語モデルの概要 | GPT

第3章: プロンプトエンジニアリングの基本

- プロンプトエンジニアリングの必要性
- プロンプトの基本要素
- プロンプトの書き方のコツ
- プロンプト実行時の注意点
- タスク別プロンプト例

第4章: プロンプトのテクニック集【業務別編】

- 営業・営業企画、マーケティング、広報、カスタマーサポート・サクセス、IT、データサイエンス、デザイン、製品開発、製造、総務、経理・財務、法務、人事

第5章: プロンプトのテクニック集【応用編】

- Few-shotプロンプティング
- Chain-of-Thought(CoT)プロンプティング
- 条件指定
- Auto

第6章: Advanced Data Analytics(旧 Code Interpreter)の使い方

- Advanced Data Analyticsの概要
- Advanced Data Analyticsを用いたPowerPointスライドの作成
- Advanced Data Analyticsを用いた2値分類予測

第7章: 対話型生成AIを利用する際に関わる倫理と法

- 倫理と法律
- AI倫理
- 対話型生成AI利用に関する法的リスク

第8章: [ワーク]業務での対話型生成AI活用

- ChatGPTを使った確認テスト作成
(問題文、選択肢、正解、解説の作成)
- ChatGPTを使った報告書の作成
(精度の低い大量の文字起こしデータを使用)

付録: プロンプトエンジニアリング 20本ノック

プロンプトの基本構成



- プロンプトを作成するときは、指示、コンテキスト、出力インジケータの3つの要素を入れること
- ただし、毎回全てを入れる必要はない

プロンプトの構成要素

構成要素	概要
指示	具体的なタスクのこと ・ 「～してください」 ・ 「～は？」 など
コンテキスト	外部情報や追加の文脈など、推論で考慮すべき様々な情報のこと ・ 条件 ・ 役割設定 ・ 事前情報や知識 ・ 解答例 など
出力インジケータ	出力で得たい型や形式のこと ・ 「箇条書きで出してください」 ・ 「300文字以内で回答してください」 など

© SKILLUP AI, Ltd.

11

営業・営業企画 | 文章作成



■ 顧客向け新製品の説明文作成

- ・ 入力

# ゴール [条件]に従って顧客向け新製品の説明を作成してください。	一ちや登山を楽しむ人々 - 目標：新しいターゲット顧客の開拓とブランドの浸透
# 役割 あなたは新製品の紹介を行う営業担当です。	# 出力形式 - 新製品説明を300文字程度で出力する - 文章の文字数も表示する
# 条件 - [新製品情報]を基に、顧客に訴求する新製品の説明を作成する - 読者が即座に新製品の価値や利点を理解できるようにする - ターゲット層の関心に応じた言葉を使用する - 創意工夫を凝らした表現を取り入れる - 記憶に残る簡潔で分かりやすい表現を使う - 特長的な要素を強調する	
# 新製品情報 - 製品名：「サマーグローブ プロテクター」 - 製品概要：暑い夏にぴったりな、涼しさと保護力を兼ね備えた日焼け止めクリーム - ターゲット：アウトドア派の男女、特にピ	

© SKILLUP AI, Ltd.

13

方向性刺激プロンプティング



■ 具体例

- ・ 出力

方向性刺激プロンプティングなし

XAIという言葉が2017年にDARPAによって提唱され、その後日本でも重要視されるようになりました。内閣府や総務省、文部科学省でもXAIの技術開発や判断結果の説明可能性に留意することが目標として掲げられています。

方向性刺激プロンプティングあり

XAIとは、AIの説明可能性を追求する研究であり、2017年にアメリカのDARPAがプロジェクトを発表し、以降日本でも重要視されるようになった。2018年の人工知能技術戦略実行計画では、2025年までにXAIの技術開発を達成することが目標とされ、また同年には総務省が「透明性の原則」の一環として判断結果の説明可能性に留意することが明記された。

ヒントで与えたキーワードを含む要約文が生成されている

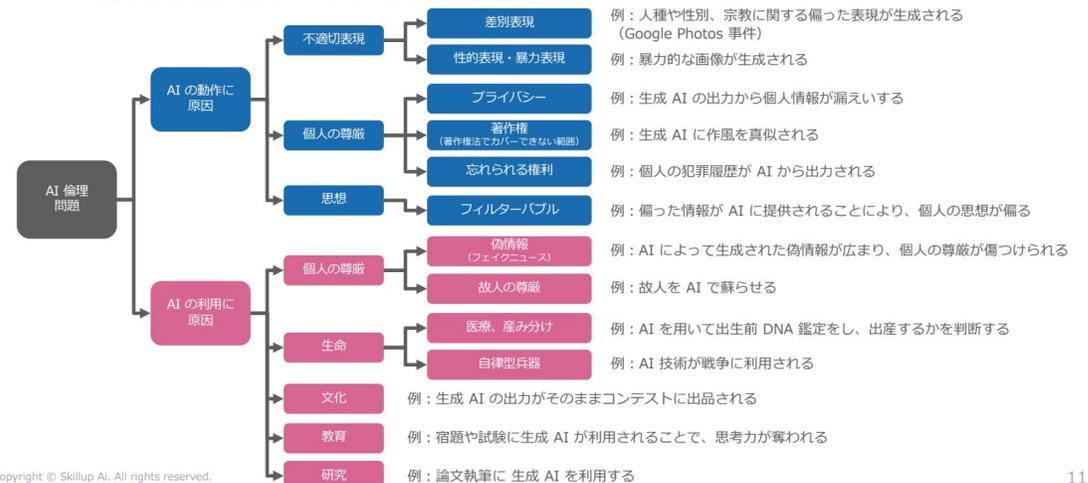
© SKILLUP AI, Ltd.

29

AI に関する倫理的問題 | AI 倫理問題



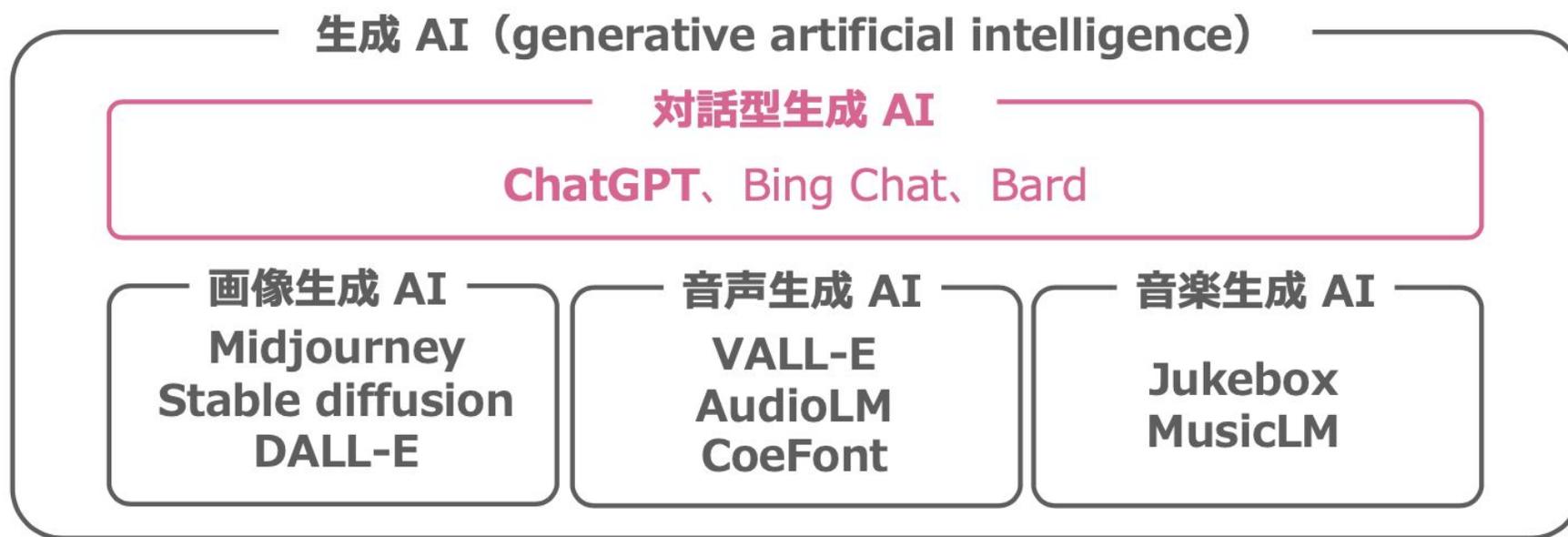
■ AI 倫理問題は以下のような種類に分けられる



Copyright © Skillup AI. All rights reserved.

11

- 本講座では主に、ChatGPTをはじめとする、対話型生成 AI を対象とする
- 対話型生成 AI とは、GPT などの大規模言語モデル（LLM：Large Language Models）を用いて、ユーザとの対話を実現する AI である



本講座では、基本的に ChatGPT を利用して解説するが、
本講座で学んだ考え方は、他の対話型生成 AI にも適用できる

JDLA(日本ディープラーニング協会)が行った生成AI関連の試験対策の勉強会を**業界で唯一実施**。その他プロンプトエンジニアリング関連の勉強会も主催している。

JDLA(日本ディープラーニング協会)のHPでもご紹介いただいております
 参考:[6/21開催 無料で学べる実践的AI勉強会スキルアップAIキャンプ「JDLA Generative AI Test2023対策」](#)

第120回	7月19日(水)※受付終了	今から備えるメタバース×AI >>詳細はこちら	ライブ配信	小縣	-
第121回	7月26日(水)※受付終了	データが少なくとも機械学習したい！ スモールデータに対する機械学習入門 >>詳細はこちら	ライブ配信	斉藤	-
第122回	8月2日(水)	E資格直前対策(第97回) >>詳細はこちら	再配信	小縣	-
第123回	8月9日(水)	ChatGPT時代を生き抜くためのプロンプトエンジニアリング その3	ライブ配信	小縣	-
第124回	8月23日(水)	今のモデルに新しいことを学ばせたい！ 継続学習ことはじめ >>詳細はこちら	ライブ配信	斉藤	-
第125回	8月30日(水)	G検定直前対策(第68回)	再配信	小縣	-
第126回	9月6日(水)	説明可能なAIの現状は？ XAI 最新手法あれこれ	ライブ配信	斉藤	-
第127回	9月13日(水)	ロボティクス・自動運転におけるLiDARを用いたセンサフュージョンと 3D Vision	ライブ配信	小縣	濱松祐矢氏
第128回	9月20日(水)	ChatGPT時代を生き抜くためのプロンプトエンジニアリング その1(第112回)	再配信	小縣	-
第129回	9月27日(水)	ChatGPT時代を生き抜くためのプロンプトエンジニアリング その4	ライブ配信	小縣	-